



I ネットで画像送信 AMDA

岡山市櫛津のAMDA（アジア医師連絡協議会）では、東京都足立区の荒川河川敷で行われた東京都と同区の合同防災訓練に約百六十人が参加、広島空港と岡山空港から医師、看護婦ら八人を会場へ輸送した。本部では、阪神大震災の際にも活躍したアマチュア無線クラブ「瀬戸内DXクラブ」のメンバーが訓練会場と交信。被災地の様子を直接本部に伝えられるように、東京会場に臨時の総合デジタル通信網（ISDN）を引き、会場の写真や動画をインターネットに乗せる試みも初めて行っ

た。会場側で機器の設置に二時間かかるなど、予想外の事態もあったが、写真六枚をAMDAのホームページに載せた。担当した沢田寛医師（三）は「将来的には、海外の被災地から画像が送れるようになるのでは」と話していた。